

エポキシ・アクリルエマルジョン配合 複合塗膜防水材

エポミックス7000

エポミックス7000はセメント系微粒子粉体にエポキシ・アクリルエマルジョンとを組み合わせた画期的複合塗膜防水材です。エポキシ樹脂の持つ耐水性及び接着性能、またアクリルエマルジョンの特殊造膜による防水効果により高水圧(70メートル水圧)においても優れた防水性能を示すと共に、これまで困難とされてきた背面防水にも効果を発揮し、背水圧による膨れや剥離がありません。

特長

- ▶ アクリル系、EVA系エマルジョンを配合した塗膜防水材に見られる水中での接着力の低下がないために、膨れや剥離を生じません。
- ▶ エポキシ・アクリルエマルジョンの使用により、優れた防水性能、耐薬品性及び耐海水性を有しています。
- ▶ ライトグレーに調合された緻密で滑らかな塗膜は、新設コンクリートの風合いを損なうことなく、美観的に優れています。
- ▶ 水系で、湿潤面への施工も可能で地下構造物の内外壁等の防水に適しています。また有機溶剤が含まれていないので閉所での使用においても溶剤障害がありません。

用途

- ▶ 水槽防水 貯水槽、防火水槽、水路、木コン、打継ぎ処理
- ▶ 地下防水 地下壁、シールド、共同溝内壁、ボックスカルバート、地下室、地下ガレージ、ピット、エレベーターピット
- ▶ 止水補修 Vカット止水等の上塗り防水としてコンクリート構造物の改修補修の保護防水

配合及び材料使用量

配合		ライニング用	プライマー用
粉体		10kg	-
EM混和液	主剤	3kg	3kg
	硬化剤	1kg	1kg
水		0kg~1.0kg	4kg
練上り量		8.43(ℓ)	-
積算比重		1.63	-
EM-1工法		1.7kg/m ² ×1回塗布	0.2kg/m ² (積算使用量0.1kg/m ²)
EM-2工法		1.25kg/m ² ×2回塗布	

※エポミックス7000の主剤・硬化剤と、EM混和液の主剤・硬化剤は同じです。

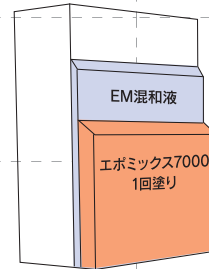
● 荷姿

- エポミックス7000[ライニング用] 14kg EM混和液[プライマー用] 4kg
- ・粉体 10kg
 - ・主剤 3kg
 - ・硬化剤 1kg

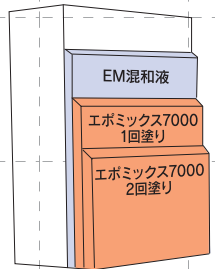


工法

■EM-1工法



■EM-2工法



■使用量

- 《EM-1工法》
EM混和液(水希釈液)……0.2kg/m²
(積算使用量0.1kg/m²)
エポミックス7000……1.7kg/m²
(1回塗り)
- 《EM-2工法》
EM混和液(水希釈液)……0.2kg/m²
(積算使用量0.1kg/m²)
エポミックス7000……1.25kg/m²×2回
(2回塗り)

施工要領

- ① 下地を洗浄し、ほこり、レイタンス、エフロ等を除去する。
- ② 下地乾燥後、プライマー配合したEM混和液をハケ、ローラー等で塗布する。
塗布量: 0.2kg/m² (水希釈液) 積算使用量: 正味0.1kg/m²
- ③ EM混和液塗布後、最低1時間放置して、エポミックス7000を塗り付ける。
塗布量: EM-1工法 1.7kg/m² (1mm厚)
EM-2工法 1.25kg×2回塗=2.5kg/m² (1.5mm厚)

性能

■ 透水試験

試験水圧	透水量(g)		
	普通モルタル	EM-1工法	EM-2工法
0.3MPa	78.0	0.8	0.2
0.7MPa	131.6	2.0	0.6

※EM-1工法: 普通モルタル試験体にエポミックス7000を1mm厚で塗布。
 ※EM-2工法: // 1.5mm厚で塗布。
 (2回塗)

■ 接着力試験

下地	塗布条件	接着強度(N/mm ²)
コンクリート	乾燥	2.8
	湿潤	2.5
エポキシ塗膜	乾燥	3.0
スレート板*	乾燥	1.0
珪カル板*	乾燥	0.6

※下地破壊

■ 耐薬品性

浸漬液体名	状態	判定
水道水	異常なし	○
工業用水	異常なし	○
海水	異常なし	○
pH3液(硫酸希釈)	変色	△
苛性ソーダ(3%液)	異常なし	○

※浸漬日数 1カ月

● 本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・既存下地・施工環境・気候とさまざまな施工上の問題がありますので、使用の際は当社営業担当へご相談下さい。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

● 使用上の注意

- ・ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- ・取り扱い時は、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスク等の適切な保護具を着用して下さい。
- ・製品は直射日光、湿気を避けて5~35℃で保管して下さい。
- ・飲料用水槽、養魚用水槽には使用できません。
- ・本製品は、亀裂に対する追従性はありません。
- ・結露により硬化不良を起こすことがありますので、結露が考えられる場合は通風等の結露防止策を行って下さい。
- ・施工中、養生中に5℃以下になることが考えられる場合は、採暖を行って、施工、養生温度を5℃以上に保って下さい。
- ・長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- ・現場状況等によって1回塗りでの規定量を塗布しにくい場合は、分けて塗布して下さい。
- ・一度練った材料の練り返しは絶対にしないで下さい。(物性が低下します)
- ・目に入った場合は直ちに水で数分間注意深く洗い、眼科医の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗浄し、湿疹や炎症の兆候が見られる場合は医師の治療を受けて下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社

EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

● 本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
● いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
● 大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
● 福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関東支店	〒224-0003	神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
● 仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
● 新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
● 静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
● 北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
● 広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
● 熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
● 鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● ㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226-13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
● ㈱エレホン・技研岡山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1450-6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230